

平成28年度
社会貢献の取り組み



社会福祉法人 昭徳会

目 次

法人全体	1
保育所	1
児童分野	4
障害分野	5
老人分野	12
高浜地区	19
利用者負担軽減	20

<全 体>

事業名	学生・生徒に介護等の取組みを伝え福祉への理解を深める
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人施設では、施設が取り組むターミナルケアや回想法、自立支援介護をはじめとする認知症ケアの実践を生徒に伝え、高齢者福祉に対する理解とを深め、介護の魅力を伝えている。 ・障害関係施設では、職員と利用者が隔月で、地域の中学校に行き、生徒たちと掃除や給食の時間を共にすることで交流を深めている。 ・中学校の職場体験実習として、随時生徒を受け入れている。
事業名	AEDの設置
事業の内容	施設に設置しているAEDを公表し、緊急時に活用できるようにしている。

<保育所>

事業名	未就園児童を持つ保護者への子育て支援（子育て支援）
事業の内容	<p>未就園児とその保護者を対象とし、子育て広場を毎月1回の開催している。</p> <p>保育士によるあそびの紹介や手作りおもちゃづくりなどを行ない、子育て情報を発信したり、育児相談にも対応している。</p> <p>運動会や夏まつりなどの保育行事にも参加してもらっている。</p>
事業名	施設の地域開放（地域育児支援）
事業の内容	定期的に保育園を解放している。自由に園内で遊んでもらい、子ども同士の関わり、保護者どおしの交流の場としている。
事業名	老人ホームの慰問
事業の内容	年長児童が定期的に近隣の特別養護老人ホームへ行き、老人に遊戯を披露するなど触れ合っている。

駒方保育園 社会貢献事業の取組み

駒方保育園では、社会貢献事業として、子育て支援事業を行なっています。

未就園児とその保護者を対象とした「遊びの会」を月1回開催し、月ごとの変わるプログラムで、手作りおもちゃ作りやおやつ作りの他、園庭開放や育児相談を行ない、地域の子育て中の方々にご利用いただいています。



絵本読み聞かせ



保育園でよく読んでいる絵本や
お家でも是非読んでほしい絵本を選んで
絵本の紹介もしています。

おやつ作り



アレルギーを持っているお子さんも
安心して食べられるおやつ作りを
おしゃべりを楽しみながら行ないます。



園内で開催される夏まつりです。
盆踊りやヨーヨー釣りなど、夏の夜を
親子で楽しんでいただけます。



クリスマス会

季節に合わせて楽しい行事も
行ないます。クリスマス会では、
サンタさんから嬉しいプレゼント！

光徳保育園 社会貢献事業の取組み



光徳保育園では、社会貢献事業として様々な地域子育て支援を行っています。核家族化が進む中、子育てに悩みながらも、相談する相手が周りにおらず、一人で不安を抱えていたり、情報が散乱する中で子どもの発達の見通しが立たないでいたりする保護者に、地域の中で身近に相談できる場所や子どもの遊び場として利用していただいています。

園開放

毎週第1、第2木曜日は園開放日です。園庭や、絵本コーナーにて親子でゆっくりと遊んでいただきながら、保育士が保護者の育児相談に応じています。

ちびっこ広場

毎月第3木曜日は、「ちびっこ広場」の日です。未就園の親子を対象にリズム遊びや、折り紙、ペーパーマッサージなどのプログラムを楽しんでもらうとともに、子育て世代の仲間作りの場として役割も担っています。

ちびっこ広場



安城七夕祭り吹き流し出展



安城七夕祭り

「安城七夕祭り」には地域協賛として、園児と作った吹き流しの作品を出品しています。平成28年度は優秀賞をいただきました。可愛い作品が地域の方に喜ばれています。



地域の皆さんと夏祭り！



夏祭り

園内で開催される夏祭りには地域の方たちや卒園した子どもたちにも参加してもらっています。ヨーヨー釣りに、おもちゃすくい、ゲームコーナーに盆踊り、町内でも祭りの開催を心待ちにしている子どもも多く、毎年たくさんの人で賑わい盛り上がっています。

「smile the koutoku」



出張人形劇

職員でつくった人形劇クラブ「smile the koutoku」地域の子ども会や、福祉施設等に出かけ、人形劇や歌や遊びを楽しんでいただきます。



○その他にも、地域文化イベントへの参加や、防災訓練への参加、清掃活動等にも積極的に参加しています。

これからも、地域内の一番身近な子育て支援の場として、子どもたちの健やかな成長を支え、保護者皆様の育児不安の解消に努めていきたいと考えています。

<児童養護施設>

事業名	なごや・よりどころサポート事業
事業の内容	名古屋市社会福祉協議会を窓口とした既存の制度では解決できない、地域住民の抱える困難な福祉課題の解決に向けた公益的な事業である。生活費の支援、緊急的に困ったときの援助をすることで、養護施設等を出て大学等へ進学したり、就職をする子ども達の継続的な「よりどころ」となることを目指すものである。
事業名	地域子ども会への協力
事業の内容	地域子ども会主催の行事(ソフトボール大会、ドッチボール大会)への役員の派遣および備品の貸し出し。施設設備(グラウンド、会議室、地域交流室)を解放している。
事業名	地域内の清掃活動
事業の内容	毎月定期的に、地域の方々と地域の清掃活動を実施している。
事業名	地域防災に対する取組み
事業の内容	避難所としての役割を担うことができるよう、緊急時における非常食品の1週間分の備蓄を整備し、緊急時の対応に備えている。
事業名	『児童虐待防止』オレンジリボンたすきリレー
事業の内容	開催日…10月23日(日) 事業内容…児童養護施設、行政職員などがランナーになり、児童虐待防止について市民に広くPRを行う。2コースに分かれ各施設を中継し栄ナディアパークをゴールセレモニー。主催:名古屋市、名養連、さくら
事業名	短時間託児事業(子ども家庭支援センター)
事業の内容	保護者の急な用事や子育てに行き詰った母親のレスパイトを目的として、最長2時間の間子供を預かっている。
事業名	施設の地域開放
事業の内容	施設の一室を、地域に開放し町内会の会合などに利用している。

社会貢献活動

【子ども家庭支援センターさくら・名古屋養育院】

平成28年度 里親普及事業

愛着や真実告知をテーマに、里親宅や施設で暮らす子ども及び一般市民への研修会。講師を各々のテーマで3名招聘し、ワーク中心に名古屋市とさくらが主催開催する。
開催日：平成28年6月11日、9月10日、平成29年1月14日



平成28年度 スマイルデーなごや

各相談窓口への理解を深めることにより、子ども・若者の自殺予防に繋げることを目的に、主催名古屋市、後援さくらでイベントブースを設置し一般市民の相談を応じる。
会場：オアシス21「銀河の広場」 開催日平成28年9月19日(祝)

平成28年度 さくら里親サロン

里親・親子で参加。5月(ヨガでリフレッシュ)8月(発達の違いについて)11・2月(スターバレンティング親子支援プログラム)を年4回行っている。
会場：名古屋養育院和室 参加者：年間84名



平成28年度 見守り支援者：すくすくボランティア養成講座

年間8回、親子を温かく見守り、地域子育て支援と児童虐待予防に繋げることを目的に、市内8区を対象に、講師：前尾美津枝氏とさくらが中心になり養成講座を開催している。
主催：名古屋市・さくら

平成28年度 『児童虐待防止』オレンジたすきリレー

11月1日(日)に児童養護施設、行政職員などがランナーになり、児童虐待防止について市民に広くPRを行う。2コースにわかれ各施設を中継し栄ナディアパークをゴールセレモニー。
主催：名古屋市、名養連、さくら



平成28年度 なごやつどいの広場

毎週4日(火～金曜日)9時から14時まで、子育て中の親子に、つどいの場を提供し、子育てに関する相談に応じている。また、子育て支援グループの力を借りて、支援に関する相談や講習会の開催を行っている。

平成28年度 名養祭り

施設職員と児童で計画を経て、日々お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを表す場として、食事・太鼓・歌などで地域の方々におもてなしを行っている。
会場：名古屋養育院 実施日：11月13日(日) 主催：名古屋養育院・さくら



<障害児・者施設>

事業名	療育相談及び相談支援
事業の内容	地域の短期入所利用者を始めとする障害児を持つ保護者からの療育相談(進路・悩み含)支援、地域における障害児療育問題に対し、関係機関に対しての相談支援及び要請等により、サポート会議等に職員の派遣を行った。
事業名	利用者の無料送迎
事業の内容	保護者の介護負担軽減(レスパイトケア) 特別支援学校の生徒で、短期入所(日中短期入所)利用する場合に無料送迎を行った。
事業名	退園児童のアフターフォロー
事業の内容	施設を退園して、就職した子供・家庭復帰した子供に対して、定期的に訪問し、退園後の生活について支援援助を行った。
事業名	ふれあい朝市への参加
事業の内容	地域で、毎月第一土曜日に開催している「ふれあい朝市」に出店・参加している。朝市には地域の方々が、手作り品や地元特産品など販売にみえており、その中で施設もボランティアの協力をいただきながら日中活動で製作した陶芸品や、野菜・しいたけなどを販売して好評を得ており、地域の活性化に努めている。
事業名	朝市会場の除草作業参加
事業の内容	施設が毎月参加している朝市の会場の除草作業を、利用者、職員で行っている。
事業名	地域の行事への参加
事業の内容	年間を通して地域で催される「和紙良いフェスタ」「小原文化祭り」「四季桜祭り」に利用者、職員とで出店・参加している。日中活動で生産した野菜、干支、陶芸作品の販売以外にも、「射的」「ヨーヨー釣り」などのゲームを催している。 地域の夏祭りにボランティアとして参加し、厨房職員の自前によるゼリーを無償で参加者に提供し、地域おこしの一端を担っている。
事業名	軽トラあんどんパレード参加
事業の内容	地域の村おこしを目的として、「若者 U ターン促進イベント実行委員会」に参加した。地元特産和紙を使用した張りぼてを軽トラに乗せて小原全域をパレードした。
事業名	地域防犯パトロールの実施
事業の内容	防犯啓発用にステッカーを公用車に貼り、地域の防犯啓発活動に取り組んでいる。

事業名	熊本地震復興支援
事業の内容	4月に発生した熊本地震に際し、法人職員の有志により、授産所で作っているアレルギー対応食品(ぱりまる)を被災地に届けた。 平成28年4月27日 熊本市
事業名	地域企業の新人社員研修受入
事業の内容	地域企業(2社)の新人社員を対象として、社会人としての心得、福祉の現状及び連携、企業における社会貢献の意義、人材育成等について説明を行い、その後利用者と一緒に作業体験を行っている。 ① 平成28年4月6日・7日 (16名) ② 平成28年4月11日(9名)
事業名	地域交流事業「高取すてき発見事業」の実施
事業の内容	高浜市内小学校の、地域の素敵な活動をする場所を取材する「高取すてき発見授業」に協力。3年生5名及び、教諭を2日間受け入れ「ぱりまる工場」を取材し、実際に利用者と一緒に「ぱりまる」の製造を体験してもらい、自分たちで作った「ぱりまる」を持ち帰ってもらった。 開催日:平成28年9月29日・10月21日(参加者:5名)
事業名	地域の子どもを対象としたイベントを開催
事業の内容	ハロウィン及びバレンタインに、地域の子どもを対象にぱりまる料理教室を開催した。ハロウィンイベントでは、事業所に来てくれた子どもたちにお菓子を配布。ぱりまる料理教室では地域のアレルギーを持つ子どもたち及び保護者にぱりまるを使っての料理教室を開催、バレンタインイベントでは、地域の子どもたちが、授産所のチョコレート掛け機を使用して、自由にバレンタイン用チョコレートを作成している。 ・開催日 平成28年10月31日(月)ハロウィン企画 平成29年1月22日(日)ぱりまる料理教室 平成29年2月12日(日)バレンタイン企画 ・参加者 30名(ハロウィン企画)、14名(ぱりまる料理教室)、28名(バレンタイン企画)
事業名	職員派遣
事業の内容	日本福祉大学の社会福祉士実習に行く学生たちに「発達障害支援の実際」をテーマに講義を行った。ロールプレイも含めた内容で、理解しやすく印象的なものになった。
事業名	地域の花壇の管理整備
事業の内容	JA支社と協力して、地域の花壇(国道沿いのバス停付近)を管理し、季節の花を植え、整備している。

事業名	お寺、神社の除草清掃
事業の内容	<p>地元のお寺の寺駐車場の除草をボランティアで年3回(7月、8月)実施した。</p> <p>地域のお宮当番として、地域の氏神様である加茂原神社の秋の大祭、初詣に備えた運営準備(飾りつけ、清掃)に年2回(10月、12月)参加した。</p>
事業名	自閉症の理解と啓発活動
事業の内容	<p>自閉症障害の特徴を誰にでも理解できるようカルタ形式で作製し、遊び感覚で理解できるよう啓発しています。また、市役所等にも常設し、その理解と普及に努めています。</p>
事業名	わくわくフェスティバル
事業の内容	<p>地元社会福祉協議会主催の「フェスティバル」の実行委員会に職員1名を派遣し、企画運営を行った。又、「フェスティバル」当日には、模擬店(ぱりまるたません)を出店するとともに、各企画にも参加した。</p> <p>開催日:平成28年11月6日</p> <p>内容:「もっとつながれ「話・輪・和」(つながりの輪は∞)をテーマに、災害を皆で考えるブース(話)、オリジナルポッチャゲーム(輪)、ワンデイシェフのランチ(和)を中心にステージイベント、模擬店等を開催</p> <p>参加者:3,600名</p>
事業名	職場体験受入
事業の内容	<p>特別支援学校等の生徒を受け入れ、将来の就労体験を行う。</p> <p>開催日 平成28年12月5日・6日・13日(参加者 25名)</p>
事業名	給付外就労アセスメント
事業の内容	<p>地域に住む障害者や生活困窮者の就労(一般就労及び福祉的就労)に向け、市内唯一の就労移行サービス事業所として、給付外で就労移行アセスメントを行った。</p> <p>利用者数:7人 日数:23日</p>
事業名	福祉サービス外支援
事業の内容	<p>地域に住む受給者証を持っていない障害者や高齢者を福祉サービス外で受け入れ、利用者と一緒に活動してもらうことにより、参加者の生きがい、やりがい、楽しみの提供</p> <p>① 開催日:随時(作業、お楽しみ会、所外行事)</p> <p>② 参加者:述べ人数30名</p>

【地域貢献】(小原学園)

《アフターフォロー》

(1) 施設訪問

小原学園を退園した一年目の利用者の様子を年二回見に行っています(必要に応じてその後も継続)。その中で、進路先の企業や作業所、成人施設、グループホームとの情報交換、本人の悩み等の相談に対応し、子どもたちを励ましています。



(2) 里帰り

家庭へ帰省できない退園利用者が子供時代を過ごした家庭がわりである小原学園にG・W、お盆、年末年始などで帰省してきます。在園利用者は帰省してきた退園利用者の姿を見て自身の進路に刺激を受け、帰省してきた退園利用者はリフレッシュして進路先へ戻っていきます。

《地域との交流》



十二年前、小原に移転してから和太鼓演奏をはじめ、地域のお祭りや、同法人の行事若へ太鼓クラブの活動として参加しています。年々知名度は上がり、和太鼓演奏の依頼も増えています。

《短期入所・日中短期入所の送迎サービス》

小原学園の短期入所・日中短期入所の利用者の中で三好特別支援学校のスクールバス(小原学園の利用者と同じコース)を利用している方については、猿投神社バス停から小原学園間の送迎サービスを行っています。



地域と共に

小原寮の取り組み

◆地域交流

藤岡イオン街のふれあい館内に設置した生鮮品（野菜・肉類・魚介）、パン・漬物などを販売しています。また、ふれあい広場フーズホールは、月1回多目的ホールを開放して飲み物とスイーツを施設外の方にも提供し、ステージでは地域、家族の方にパフォーマンスを披露していただいています。いずれも社協主催の「ボランティア体験隊」受け入れ施設として、中学生の体験の場となっています。他小原四季桜まつり、ふれあいまつり、あんどんパレード、文化まつりなど地元イベントに参加しています。



◆行政・相談支援事業所との連携協力

強い行動障害を持ち家庭生活が困難な方に行政、医療、他サービス提供事業所と連携して月10日のショートステイを受け持ちました。また、サービス提供事業所縮小に伴い利用を増加したケース、家族入院による緊急ショートステイの受け入れ、行政の計画に沿って定期的に関催される個別支援会議出席など地域の事業所として役割を果たしています。

◆地元中学との定期交流

地域委員会職員と3名の利用者が隔月で小原中学校に出向き、生徒たちと掃除、給食の時間を共にすることで交流を深めています。また中学校の職場体験実習として3日間、藤岡中学の生徒2名を受け入れ食事、入浴等の介護体験とともに福祉の仕事の魅力について伝えるようにしています。



◆講師派遣

日本福祉大学の社会福祉士実習に行く学生たちに「発達障害支援の実際」をテーマに講義を行っています。若手職員2名によるロールプレイも含めた内容で、理解しやすく印象的なものになっています。

障害福祉サービス事業 授産所高浜安立

～地域を支える～

- ・ハロウィン・バレンタイン・ぱりまる教室等の各種イベントの開催による地域住民の楽しみの提供、健康自生地登録により、高齢者の健康増進及び障がい者の場の提供
- ・地域の各種イベントに模擬店の出展等、積極的に参加。
- ・民生委員を含めた地域ボランティアの積極的な受け入れ。
- ・職員全員が認知症サポーターに登録して高浜市の高齢者福祉に貢献。
- ・地域企業の職員研修の受け入れ。
- ・地域自立支援協議会等への職員派遣。



～子どもたちを支える～

- ・地域の小学校の授業単元で、ぱりまる製造について授業を担当
- ・特別支援学校の生徒を受け入れての仕事体験。
- ・介護福祉士、教員免許等、資格取得実習受け入れ。



～地域で障がいを持った方を支える～

- ・生活困窮や、引きこもり、就職に失敗した地域の障がい者に対し、就労準備のための給付外サービスの提供。
- ・地域の障がい者や高齢者に対し行事等に参加してもらい(サービス外)余暇の充実及びやりの提供。



～災害時を支える～

- ・東日本大震災及び熊本地震の際、被災地に自主製品「ぱりまる」寄贈。
- ・高浜市と福祉避難所契約。
- ・高浜市市民に対する防災フォーラム開催



<老人関係施設>

事業名	地元地区の清掃・立哨活動
事業の内容	・地域住民と一緒に地区のお宮、道路の清掃を行う。年2回7名 ・沢田の交差点で朝の交通当番として立哨活動を行う。年4回 11名
事業名	地域の運動会へ補助者として参加
事業の内容	職員が地域のスポーツフェスタへ参加し、器具の準備、審判等ボランティアとして参加している。(スポーツフェスタ、体育祭、マラソン駅伝大会)
事業名	地域の独居高齢者宅へお話しボランティア
事業の内容	地域として取り組んでいる独居高齢者宅への訪問サポーターに同行し、出来事や悩み等の話を傾聴している。
事業名	住民交流会の開催
事業の内容	施設所在の地区のふれあいサロンに参加し、認知症の勉強会及び行事支援を行っている。(年5回)
事業名	みよし市発「懐かし想ひ出列車」(みよし市との協働事業)
事業の内容	みよし市と協働で、定期的に施設を利用して回想法による高齢者介護予防ならびに啓発活動を行っている。(年間8回実施)
事業名	認知症カフェへ職員を派遣
事業の内容	地元の他の事業所主催の認知症カフェに職員を派遣して、運営補助を行っている。(年12回)
事業名	愛知県内の市町村振興協会へ職員を派遣
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 武豊町思いやりセンター 講義「老年症候群を理解する」 ● 安城市城山公民館 講義「家庭介護における応急手当の基礎知識」 ● 豊田市福祉センター 講義「介護現場でのヒヤリハット・介護事故について」 ● 東栄町食生活支援センター 講義「家庭介護における応急手当の基礎知識」 ● 安城市東尾公民館 講義「生活習慣病を予防するために」 ● 豊川市社会福祉会館 講義「生活習慣病を予防するために」

事業名	認知症サポーター講習への職員派遣(認知症キャラバンメイト)
事業の内容	職員がキャラバンメイトとなり、みよし市では市内の小学校(4校)に、高浜市では市内の企業や小学校において、それぞれ「認知症サポーター養成講座」を開催している。
事業名	地域への回想法の普及活動
事業の内容	高齢者の介護予防を目的として、定期的に回想法の体験を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・みよし市総合福祉フェスタ ・回想法のつどい
事業名	地域サロンの開催
事業の内容	地域のNPO 法人と協働で、施設を開放して地域サロンを開催した。 11月10日 <ul style="list-style-type: none"> ・介護講座は「起き上がり介助」「立ち上がり介助」「移乗介助」「食事介助」等の介助方法について ・施設で提供している昼食を提供
事業名	市民公開セミナー(第6回)
事業の内容	高浜安立荘及び特別養護老人ホームへの理解を深めていただくため、施設の取組みを報告した。地域住民が興味関心を寄せることや社会的な問題をテーマに掲げて講師を依頼して講演会を開催した。 開催日 平成28年11月20日(日) 場 所 いきいき広場2階ホール(高浜市春日町) 内 容 認知症予防 講 演 島田裕之 氏 国立長寿医療研究センター部長 体験談 青木幸夫 氏 名古屋市在住 参加者 86名
事業名	地域の清掃活動
事業の内容	毎月開催される地域の清掃活動「渡し場かもめ会」に参加している。 冬季3か月間は地域活動「渡し場かもめ会」が休止となるが、その間も清掃活動を継続して実施している。 地域団体の開催するイベントに施設を提供したり運営に協力している。「渡し場まつり」「里海づくり」「海の生き物調査」「青パトロール」「盆踊り大会」「ソフトボール大会」「駅伝大会」等。 定期的に開催される地域団体の会議に参加している。 また、施設単独で毎月1回施設近隣道路のゴミ拾いを行っている。

事業名	エコキャップ運動
事業の内容	施設内でペットボトルのキャップを回収し、市内の収集場所へ持ち込んでいる。
事業名	緊急入所者・緊急利用の受け入れ
事業の内容	保険者およびケアマネージャー等からの緊急入所依頼等には、速やかに対応している。
事業名	生活困窮者レスキュー事業
事業の内容	大阪府社会福祉協議会が社会貢献事業に賛同する施設を募り、基金を設置して緊急的な経済援助も含めて行なう総合生活相談活動。施設からコミュニティーソーシャルワーカー(CSW)として、各種制度の狭間で生活に困難をきたしている方々や地域のセーフティネットにたどりつけないで困っている要援護者等に、専門の知識と技術を活用して心理的不安の解消や必要な諸制度につなぐなど、生活課題の迅速な解決に努力する生活困窮レスキュー事業。緊急もしくは必要な場合はその費用を一時的に基金より援助する。

小原安立

～地域の方とのなじみの関係づくり～

- ・小原西区のふれあいサロンに年5回参加し、認知症の勉強会及び行事支援の実施。
- ・地元沢田町内の美化活動（年2回：7名）や立哨活動（年4回：11名）への参加。
- ・小原スポーツフェスタ（3名）への開催協力。



ふれあいサロン 認知症勉強会



小原スポーツフェスタ

～介護を体験、介護の魅力を伝える～

- ・「ボランティア体験隊」として小原中学生5名、「職場体験学習」として藤岡中学生4名を受入れ。
- ・「介護体験学習」として法音寺青少年育成委員会から2泊3日で2名を受入れ。
- ・藤岡中学、小原中部小学校、小牧市味岡小学校の授業にて「介護の魅力・楽しさ」を伝える。
- ・豊田市認知症家族の会に、認知症介護指導者より「口腔ケア」の方法を伝える。
- ・豊田市福祉センターにて市民に、認知症介護指導者より「認知症サポーター」の講習を行う。
- ・教員免許特例法による介護体験にて中京大学10名を受入れ。



中学生介護体験



小学校訪問



～認知症になっても安心して地域で生活できる地域をめざして～

○みよし市長寿介護課や他の事業所と協働しながら、みよし市で生活されている方々を対象に、社会貢献活動を継続して行っています。高齢者の方には、回想法を通して認知症予防や引きこもり予防、居場所作り等を目的に取り組みを行っています。在宅で介護をされている方には、不安を安心して繋ぐことが出来るよう、介護方法や介護での不安に耳を傾けながら、施設職員が持っている知恵や知識等のアドバイスをしています。また、これから介護を担う可能性のある子供たちには、他の事業所と共に各小学校を回りながら、認知症の知識や認知症の方への理解を深めてもらえるような取り組みを行っています。

『地域に向けて』

- サマーフェスタ
- 地域サロン
- 回想法のつどい
- ショートステイ回想法

『みよし市・他事業所との協働』

～みよし市との協働事業～

- みよし市発「懐かし想ひ出列車」

～みよし市、他事業所との協働～

- 認知症カフェ
- 認知症サポーター育成講座

『地域行事への参加』

- みよし市総合福祉フェスタ
- 徘徊高齢者捜索模擬訓練
- 打越文化祭

【みよし市総合福祉フェスタ】



【サマーフェスタ】



【回想法のつどい】



【地域サロン】



【みよし市発「懐かし想ひ出列車」】



社会貢献活動【高浜安立荘】

昭和で元気になる会

高浜市市民予算枠事業「協働推進型」として3年目の活動を継続している。回想法を活用しながら高浜市内の高齢者の介護予防、認知症予防、閉じこもり予防、地域の伝承の一助を担うことを目的としている。今年度は、宅老所や市内の商店（健康自生地）において定期的に回想法教室を実施した。またほかの団体とのコラボレーションのイベントも数多く実施した。



生涯現役のまちづくり「健康自生地」に登録

高浜市内に「高齢者が自ら出向いて活動を行える場所」を健康自生地として認定しており、これに積極的に参加することにより、高齢者の引きこもり防止並びに介護予防に繋げていく。高浜安立荘においては、「回想法への参加」を登録し、住民の参加を受け入れる。

元気高齢者応援事業として、福祉施設でのボランティア活動に際し、1時間1ポイントのスタンプを押印する居場所として登録し、事業に協力している。

ケアハウス大阪安立 社会貢献事業の取り組み

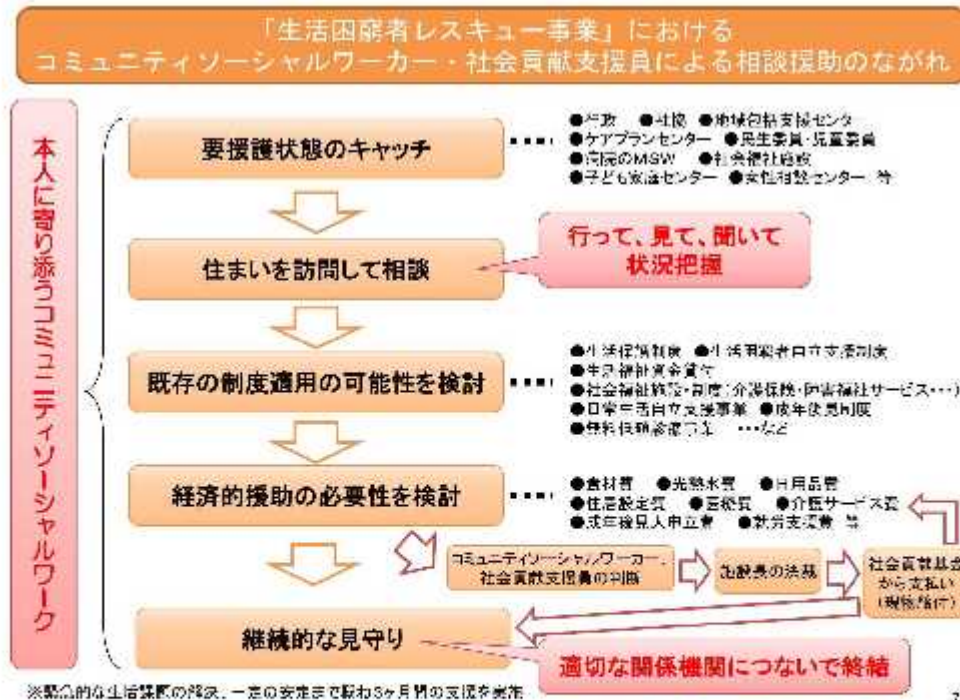
生活困窮者レスキュー事業

大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）に協賛し、制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対して、施設から総合生活相談員（コミュニティーソーシャルワーカー）として3名登録し、大阪府社会福祉協議会所属の社会貢献支援員と連携しワンストップ総合生活相談を行っている。

公的制度やサービス等による支援が受けられず、生命に関わる緊急・窮迫した制度の狭間の生活困窮状況に対しては、施設長の決済により、おおむね10万円を限度とした「経済的援助（現物支給）」による支援を実施する。

平成28年度実績

年代性別	所在地	支援理由	支援内容	
60代男性	此花区在住	退院からの生活困窮	食料支援・物的支援	終結
60代女性	此花区在住	医療費支払不能	医療機関・親族と調整	終結
70代女性	此花区在住	生活困窮と生活支援	食料支援・援助者調整	継続



※大阪しあわせネットワークパンフレットより一部引用

<高浜市での取り組み(老人関係施設、障害関係施設)>

事業名	昭和で元気になる会
事業の内容	高浜市市民予算枠事業「協働推進型」として4年目の活動を継続している回想法を活用しながら高浜市内の高齢者の介護予防、認知症予防、閉じこもり予防、地域の伝承の一助を担うことを目的としている。高浜市内で初の認知症カフェ「昭和で元気になるカフェ」を10回開催した。訪問回想法での効果についても発表の機会をいただき広く市民に伝えることができた。
事業名	認知症予防スタッフの活動
事業の内容	職員6名が「認知症予防スタッフ養成講座」を受講し認定され高浜市及び大府市において「脳とからだの健康チェック」のスタッフとして活動した。
事業名	第4回高浜市民の防災フォーラムの開催
事業の内容	市民を対象に防災意識を高めることを目的としている。 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成28年8月6日(土) ・会場 特別養護老人ホーム ・目的 障がい者や高齢者・子供たちが、みんなで安心して暮らせる町づくりを目指し、いろいろな体験を通して学びます。 ・内容 地震体験車・かまどで炊き出し訓練・煙のトンネル体験・AED訓練・防災備品展示など。 スタンプラリーカードを配布し楽しく参加していただいた。 ・参加者 166名
事業名	生涯現役のまちづくり「健康自生地」に登録
事業の内容	高浜市内に「高齢者が自ら出向いて活動を行える場所」を健康自生地として認定しており、これに積極的に参加することにより、高齢者の引きこもり防止並びに介護予防に繋げていく。 〈高浜安立荘〉 「回想法への参加」に登録し、住民の参加を受け入れる。 〈ケアハウス高浜安立〉 施設の喫茶「やすらぎ」、健康体操クラブ・ビデオ鑑賞会に登録し、地域づくりに貢献する。
事業名	市いきいきマイレージ事業に協力
事業の内容	〈高浜安立荘〉 元気高齢者応援事業として、福祉施設でのボランティア活動に際し、1時間1ポイントのスタンプを押印する居場所として登録し、事業に協力している。 〈養護老人ホーム〉 平成23年4月から、高齢者の持てる能力を発揮していただける項目を施

	設と調整し実施する。現在、茶道の講師を2人の方にお願ひし、毎月実施している。
事業名	認知症高齢者を支える家族の集いと介護教室
事業の内容	高浜市内の認知症高齢者を支える家族の集いに参加し、認知症についての講義を開催した。また、介護者を応援するために、介護知識や技術を伝える講義も開催した。

< 高齢者施設の利用者負担軽減等 >

実施施設	軽減実施額	摘要
小原安立（特養）	1,393,473	
高浜安立荘（特養）	261,189	
いこいの宿（短期）	33,620	
合計	1,688,282	